

わだち

令和2年10月9日 第25号

1学期を ふり返って よくがんばりました

今日、10月9日(金)で1学期が終わります。このわだちの前号の24号で今村副校長先生から10月の学園生目標とともに「ふり返ることの大切さ」を示していただきました。今日の1学期終業式でも副校長先生にまとめのお話をいただきました。

簡単にこの1学期をふり返りますとこの新型コロナウイルス感染症で世の中はすっかり変わってしまいました。オリンピックの延期に代表されるように、これほど世界中が変わってしまうと誰が予想したでしょう。そんな中6月に学校が再開し、みんなと先生方は、「学びを止めない」「学力」を保障する！と懸命に取り組んできました。夏休みも県下で最短でしたね。マスコミにたくさん取り上げてもらったのは、みんなのがんばりが、熊本県に元気と勇気を与えるものだったからです。体育大会の感動は、忘れられないものとなり、村民の皆さんで心一つになったひとときでした。これから感染症と闘いながら、たくましく正しい道を進みましょう。 村上 拝

1学期のがんばりを 2学期につなげよう

109名の学園生の皆さん、1学期、本当にお疲れ様でした。保護者の皆様には、家庭訪問、授業参観や体育大会、部活動の送迎等々、多大なご尽力をいただき心より感謝申し上げます。

今年度4月から産山学園に赴任した教職員は全部で14名いたのですが、半年が過ぎ、その全員が「産山に来て良かった」という実感をもっています！それは、学園の子供たち、そして保護者の皆様方のあたたかさのおかげに他なりません。

今日は、村上校長先生からのすすめもあり、終業式の中で全学園生に向けてお話する機会をいただきました。私は、学園生への期待と感謝の思いをもって、「1学期がんばったことを2学期につなげよう！」と呼びかけました。

入学式から始まって、休校あり、田植えや茶摘みあり、中体連代替試合に、オンラインでの集会等、いろいろなことがありました。もちろん毎日の学習、係活動や部活動も本当によくがんばっていました。その中で、もっとも私が感動したのは、村上校長先生と同様に、体育大会でした。「自分たちの一生懸命さ、元気な姿、チームワークで、地域を元気にしたい」という思いとそれを実現する109名の姿に心から感動しました。

ですから、2学期もぜひ「一生懸命」「元気な姿」「チームワーク」を継続してほしいと願います。さらに、もう一つお願いしたいのは、「人を元気にするあいさつ」です。あいさつは、コミュニケーションの始まりであり、社会で生きていく上で身に付けておくべき礼儀(マナー)です。「おはようございます」などの元気な声が響き合う、あいさついっぱい、えがおいっぱい2学期にしていきましょう。 今村 拝